

平成 26 年度「京の公共人材」未来を担う人づくり推進事業

平成 26 年度「京の公共人材」未来を担う人づくり推進事業とは？

平成 26 年度は、NPO 等の公共的活動に興味・関心を持っている方（失業者）10 人を対象に、地域公共人材開発機構が NPO 等の事業運営・組織基盤強化に必要なプログラムの提供を行ないました。

プログラムの内容は主に以下の 3 点を中心に実施しました。

- (1) 専門講義
- (2) NPO 等の公共的活動を行なっている団体での OJT 研修
- (3) 研修合宿

(1) 専門講義

専門講義は、前半は「公共政策を学ぶ講義」、後半は「組織運営・経営手法を学ぶ講義」を中心に全 10 日間実施されました。

公共政策を学ぶ講義では「協働」をテーマに、NPO や大学、企業、行政といったそれぞれの視点から話題提供や意見交換が行なわれました。

その講義で得た知見を現場で検証するために、亀岡市役所で開催されたクルベジワークショップ（平成 26 年 2 月 1 日開催）に地元農家、住民、行政職員等とともに参加をしました。

組織運営・経営手法を学ぶ講義では、NPO 等の現場の最前線で活躍される方を講師として迎え、「ロジカルシンキング」「コーディネーション」「ファシリテーション」「情報発信」「ファンドレイジング」をテーマに講義が行なわれました。これはワークショップ等を基調としたアクティブ・ラーニング（能動的学習）形式で実施されました。

(2) NPO 等の公共的活動を行なっている団体での OJT 研修

場づくり、まちづくり、福祉、観光、教育、中間支援等、受講者 10 人のそれぞれの興味・関心のある分野に関連する公共的活動を行なっている団体等で全 20 日間の OJT 研修を行ないました。

研修実施にあたっては、事前に OJT 受け入れ担当者、受講者、地域公共人材開発機構事務局で面談を行い、事業終了後の受講者のキャリアにできる限りつながるような研修内容の組み立てを行ないました。

(3) 研修合宿

3月11日～12日に宇多野ユースホステルにて1泊2日の研修合宿を行いました。合宿では受講者10人が事業の成果について15分のプレゼンテーションを行いました。プレゼンテーションには委託元である京都府、OJT研修受け入れ担当者も出席されました。

【プレゼンテーションの内容】

- ① 専門講座を通して得た学び、印象的だった内容
- ② OJT研修を通して得た学び、印象的だった内容
- ③ ①、②での学びや活動を事業終了後にNPO等の分野でどのように活かすことができそうか



専門講義の様子①



専門講義の様子②



専門講義の様子③



研修合宿の様子